

2010年(平成22年)4月24日(土曜日)

中日新聞

飛騨の渡辺酒造店1位

全国酒類 コンクール 上海万博へ出展決定

今年の春季全国酒類「酒」が第一位に選ばれ、来月開幕する上海万博への出展も決まった。

同酒造店は初の出品。北アルプスの伏流水と地元の酒米「飛騨ほまれ」、一昨年に自社で開発した酵母を使い、今年一月から醸造を始めた。通常の日本酒より低温で五日長く発酵させることで、うま味を強め、味にキレを出したという。

日本酒の本醸造部門1位の「蓬莱 蔵元の隠し酒」を手にする渡辺久憲専務。飛騨市古川町の渡辺酒造店で



同酒造店は初の出品。北アルプスの伏流水と地元の酒米「飛騨ほまれ」、一昨年に自社で開発した酵母を使い、今年一月から醸造を始めた。通常の日本酒より低温で五日長く発酵させることで、うま味を強め、味にキレを出したという。

受賞に伴い、上海万博で同振興会が設けるブースに出展される。

渡辺久憲専務は「創業

業百四十周年の節目の受賞に感激している。これにおごることなく日本を代表する清酒となるよう、さらに努力を重ねていきたい」と話している。

県内からは、千代菊(羽島市竹鼻町)の「千代菊 特醸酒」(本醸造部門)と「千代菊 有機純米吟醸」(純米吟醸・純米大吟醸部門)がそれぞれ二位に入った。

(平野誠也)